

## 対馬暖流は沿岸と沖合のルートに分かれ北上 対馬暖流の流量は平年並み 今後の沿岸水温は平年並に

2024年2月8日～12日にかけて実施した日本海定期観測の結果をお知らせします。  
対馬暖流はせたな沖では沿岸寄り、岩内湾以北では沿岸寄りと沖合のルートに分かれて北上しています（図1c）。  
せたな沖で計算した対馬暖流の北上流量は約1.2 Sv（1 Sv=10<sup>6</sup> m<sup>3</sup>/s）で平年並みになっています（2月流量の平年値は1.2 Sv）。  
50 m深水温は5～8 °Cで、ほぼ全域、平年よりも約1°C高くなっています（図1a,b）。  
2月中旬の余市前浜水温は「かなり高い」ですが（※1）、向こう1ヶ月の気温の予報は平年並みとなる確率が高くなっていますので（※2）、今後、沿岸水温は「平年並み」になると予想されます。

※1 <https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/kankyuu/suion/index.html>

※2 気象庁HPより1ヶ月予報：<http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/>



余市前浜水温 気象庁1ヶ月予報

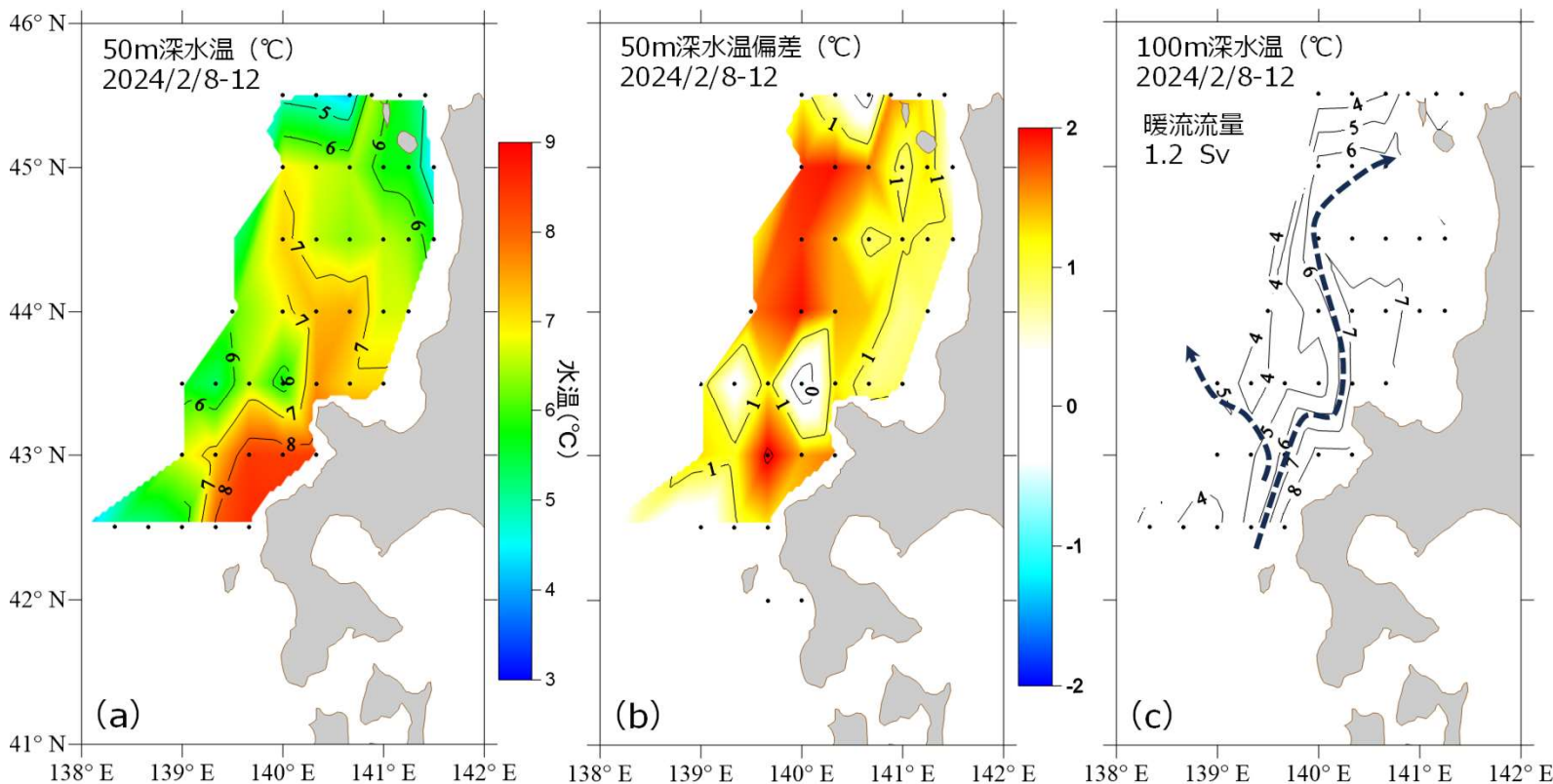


図1 2024年2月上旬～中旬における (a) 50m深水温 (b) 50m深水温偏差の水平分布、(c) 100m深水温の水平分布と対馬暖流の流路（矢印）。水温偏差は過去30年（1989年～2018年）の平均値から算出。流量の単位はSv（=1×10<sup>6</sup>m<sup>3</sup>/s）。